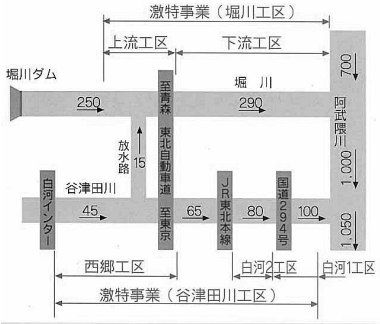
堀川（ほっかわ）・谷津田川（やんたがわ）河川激甚災害対策特別緊急事業

受賞機関　福島県県南建設事務所

はじめに

堀川、谷津田川は、福島県西郷村の山地部に源を発し、阿武隈川に合流する一級河川であり、堀川は白河市街北部を、谷津田川は南部を東西に貫流している。

平成10年８月26日から31日にかけて、東北地方日本海沿岸部に停滞する前線に向け、本州南海上の台風４号から暖かく湿った空気が流れ込んだことにより、西郷村では雨が降り続き、真船観測所で連続雨量1,267㎜、最大時間雨量90㎜を観測した。これは、年間降水量の75%が５日間で降ったことになり、本県の観測史上未曾有の大雨であった。この集中豪雨により、堀川、谷津田川も激甚な災害を受けたことから、約11.7㎞の区間で「堀川・谷津田川河川激甚災害対策特別緊急事業」を実施した。



流量配分図（単位：㎥/秒）

事業の概要

白河市の中心市街地を流れていることから、計画設計段階から住民意見を取り入れ、町並みと調和し、市民に親しまれるよう配慮し、以下の３つを河川整備方針の柱とした。

①100年に一度の大雨に対応した河川断面とし、再度災害を防止する。

②河川環境に配慮したうるおいのある川づくりを進める。

③河川整備に合わせ道路、公園、下水道の整備を図る。

工事の概要

⑴ 堀 川 工 区：施工延長　L＝5,840m

⑵ 谷津田川工区：施工延長　L＝5,858m（放水路L＝848mを含む）

堀川では、阿武隈川本川合流点での屈曲部をなくし、スムーズに洪水が流下するように改修しており、谷津田川では、沿川の住宅密集地における洪水流量を軽減するため、東北自動車道の上流で毎秒15㎥の水を堀川に分流する放水路を設けた。

また、白河市がかねてより計画を模索中であった、身近なまちづくり支援街路事業の「せせらぎ通り」（左岸市道）とタイアップして、「ふるさとの川整備事業」の認定を申請し、街づくりと一体的な水辺空間の整備を図ることとした。

住民意見を取り入れた主な工種としては、県が親水護岸（階段）・遊歩道整備・植栽・親水広場の整備を、市が街路整備・トイレ・休憩施設・照明の設置・水車の復元を行った。

地産地消による「白河石」の護岸

また、地産地消の観点から、市街地部の自然石護岸の石材には、地元で産出される「白河石」を使用することとした。

事業の効果

この事業により、河川の環境及び親水性の向上が図られ、谷津田川では「うつくしまの川・サポート制度」の導入により、災害以前から実施されている「白河市環境美化連絡協議会」の活動がより安全でスムーズに展開されている。

また、堀川についても「堀川河川愛護会」が発足し、平成16年４月から「うつくしまの川・サポート制度」を導入した。

おわりに

本事業により、堀川・谷津田川は安全性の向上が図られ、多くの人々の憩いの場として親しまれるようになった。

今後も、地域住民の意見を取り入れ、地域に親しまれる社会資本の整備に努めたいと考えている。

賛助会員　㈱アイ・エヌ・エー東北支店、川田建設㈱、㈱建設技術研究所、新構造技術㈱、日本鋼弦コンクリート㈱